

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	社会福祉法人みねやま福祉会 ゆうかり子ども園	施設種別	認定こども園 (旧体系：)
評価機関名	一般財団法人 社会的認証開発推進機構		

令和 2年 4月 22日

総 評	<p>ゆうかり子ども園は、児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉に関わる20の事業所を運営する社会福祉法人みねやま福祉会の一事業所として、平成23年から公設民営、平成26年からは民設民営で運営され、峰山総合公園に隣接した広い敷地を持つ恵まれた環境の中で、自然を取り入れた保育を中心に、集団生活の中での様々な体験を通して豊かな感性を育てる保育をすすめています。</p> <p>本園は、「一人ひとりの子ども達が集団の中で今をもっともよく生き、望ましい未来を作り出す基礎を養う」という事業所理念と、大切にしたい3つのこと「①子どもの発達を守り支えます ②楽しい豊かな経験を大切にします ③保護者の気持ちに寄り添いながら、コミュニケーションを大切にします」を掲げ、幼保連携型認定こども園として養護と教育を一体的に行い、年齢に応じて自由に素材や用具などを取り出して遊べる工夫や、自由に遊べる時間を確保するなど、子ども一人ひとりの育ちを支援しています。食事でも園内の菜園で採れた食材を使用したり、異年齢のチーム給食、戸外食を行う他、クッキングや配膳のお手伝いをするなど子ども達の主体性を引き出す工夫が見られます。また、幼保連携型のメリットを活かし、異年齢の子どもでグループを作り、週一回「ごちゃまぜで楽しもうDAY」等の取組みが行われています。</p> <p>地域との連携においては、法人内の老人施設の訪問をはじめ、地域の行事にも積極的に参加されると共に、子どもからお年寄りまで、誰でも自由に集まれる居場所を提供する取組み（きらきらスペース）や、園開放等の地域との積極的な交流が行われています。さらに、保護者や地域のニーズへの対応として、病後児保育や延長保育、一時預かり事業、休日保育事業等も実施されています。</p> <p>職員の質の向上や確保の面では、法人理念である「より質の高い福祉サービスを提供する」を実現するために若手メンバーが中心となって、みねやま福祉会リクルーティングTEAM「SKIPPY」の活動の中で、福祉人材の確保・定着と組織の活性化をめざした、就職フェアの企画・運営や内定者のフォロー、SNSの活用やデザイン戦略等を行い必要な人材の確保に努められています。</p> <p>課題としては、昭和57年に建てられた施設のリニューアルや建替えが今後必要になる事、さらに、職員不足への対応等が課題であると認識されています。</p> <p>今回、第三者評価受診に際しては、自己評価への取組みの段階から、会議を重ねる中で現状を分析し、組織全体で自己評価に取り組んでいただいています。今後は、本園の中長期計画に基づき、法人本部とも連携する中で、施設の改修や建替えを進めるための園の収支計画を作成し、地域の子育て支援の中核として保護者にも地域にもなくてはならない保育の場であり続けられますことを期待しています。</p>
-----	--

<p>特に良かった点(※)</p>	<p>Ⅱ－２－（３）職員の質の向上に向けた体制が確立されている 法人のホームページやゆうかりこども園事業計画の中に、職種別やテーマ別の研修、外部研修まで掲載されるなど、職員にとって分かりやすい工夫がされており、法人全体で職員の育成に力を入れておられることがうかがえました。また、職員が研修の機会を確保しやすいように研修に参加しても保育に支障が出ないような職員体制を整えると共に外部研修も含め業務として行われ、研修費や旅費も園で負担される等、質の向上に向けた体制が確立されていることを確認しました。</p> <p>Ⅲ－１－（５）安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取り組みが行われている リスクマネジメントマニュアルが整備されており、子どもたちが日頃遊びに行く散歩コース、近所の公園や神社などの危険個所が平面図と共に整理され職員で共有化されて子どもたちの安全に繋がっていることを見受けることができます。</p> <p>A－１－（２）環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開 施設見学の際の卒園を迎える年長児が思い出を語る場面で、子どもたちが輪になってリラックスして楽しみながらしゃべることが出来るような環境を整えると同時に、友達の前で思い出を語り、他の友達の話も聞くという経験を通して、感情の動き、人との関係、達成感、自我の育ち、態度の育ち、言葉の覚え等の獲得を育むことが出来るように工夫されているなど、一つのカリキュラムの中で養護の面と教育の面の両方を一体的に展開できるよう工夫されている状況をうかがうことが出来ました。</p>
<p>特に改善が望まれる点(※)</p>	<p>福祉サービスの質の向上に向けた取り組みについて 現場における日々の取り組みは適切に行われています。しかし評価委員会や法人の社会福祉懇談会・職員意識調査等で明らかになった課題を分析・検討に至る過程が文書化されていませんでした。今後は評価に対する分析結果や取り組むべき課題を文書化して、各種会議で出された改善策や改善計画を職員とも共有されるなど、組織的な体制の構築に期待します。</p> <p>Ⅱ－１－（１）管理者の責任が明確にされている 施設長は職務分掌表において、自らの役割と責任を明確にして、職員や保護者に周知していますが、有事（災害・事故など）における施設長の不在時の権限委任が明確化されていませんでした。権限委任について明確化し子ども達や保護者、そして職員の安全を確保していく事が重要です。</p> <p>A－１－（３）アレルギー疾患、慢性疾患のある子どもについて アレルギー疾患に関する対応マニュアルが整備されており、職員は慢性疾患に関する研修にも参加して、その情報と技術を身につけられていますが、誤食時・接触時の緊急手順に定められたマニュアルに基づく定期的な訓練が行われていることが確認できませんでした。誤食時・接触時の事故は大きな事故にも繋がりがねない事から、今後は定期的な訓練を実施し子ども達の安全により一層努められることに期待します。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	A	A

[自由記述欄]
 I-1-(1) ①法人、園ともに理念や基本方針が明文化され、理念については玄関等に掲げているほか、法人ホームページに掲載されており、基本方針についても「ゆかり子ども園事業計画」や「ゆかり子ども園～しおり～」、「ゆかり子ども園～要覧～」等を配布することにより、職員や保護者へ周知していることを確認した。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	A	A
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	A	A

[自由記述欄]
 I-2-(1) ①経営状況の把握、分析については、京丹後市や社会福祉協議会等からの情報に加え、法人の施設長会議で検討、分析された情報やデータが「中・長期計画」や「ゆかり子ども園事業計画」に反映されていることを確認した。
 I-2-(1) ②法人の施設長会議で出された経営課題を全体職員会議で周知していることを「職員会議録」で確認した。また、人材不足などの経営課題については法人の施設長会議で出された意見等をもとに園としても取組みが行われている旨の説明を受けた。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	B	B
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	A	A
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	A	A
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	A	A

[自由記述欄]
 I-3-(1) ①中長期的なビジョンや事業計画は、法人のネクストビジョン計画、園の「中長期計画表」で確認できたが、収支計画については法人、園ともに策定していない旨の説明を受けた。
 I-3-(1) ②中長期の計画を踏まえ、数値目標や具体的な成果を設定した事業計画が策定されていることを、園の「中長期計画表」及び「ゆかり子ども園事業計画」で確認した。
 I-3-(2) ①事業計画については月1回開かれる乳児会議、幼児会議、全体職員会議等で出された課題や要望等を積みあげ、年度末には職員全体の参画のもと「全体職員会議」で評価・見直しが行われていることを「職員会議録」で確認した。
 I-3-(2) ②事業計画の保護者への周知については、4月の入園進級式で各クラスにおいて、保護者や園児に関係する部分を特に丁寧に説明されている旨の説明を受けた。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	B	A
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	A	B

[自由記述欄]
 I-4-(1) ①福祉サービスの質の向上に向けた取組については、定期的に第三者評価を受診しているほか、法人の部門単位で分析を行い、評価委員のもと評価を行う体制が取られていることを聞き取った。また、園においても評価見直しが全体職員会議やリーダー会議で行われていることがそれぞれの「会議録」において確認できたため、自己評価BをAとした。
 I-4-(1) ②前回の第三者評価や職員意識調査等で明らかになった課題を職員と共有していることは聞き取れたが、課題を文書化したものが確認できなかったため、自己評価AをBとした。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	A	B
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	A	A
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	A	A
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	A	A

【自由記述欄】

II-1-(1) ①管理者の役割と責任を明確にした「ゆかり子ども園職務分掌表」は確認できたものの、有事の際の不在時の権限委任については確認できなかったため、自己評価AをBとした。
 II-1-(1) ②遵守すべき法令等の理解のための取組として、施設長は法人の研修等に参加し、各種会議を通して職員に周知していることを聞き取った。また、「法令遵守規程」と法令等をリスト化した「定款・規程の制定改正」を確認した。
 II-1-(2) ①福祉サービスの質の向上のために、「人事考課規程」に基づき、「業務管理・評価シート」を作成し、個々の職員のサービスの質の向上に指導力を発揮していることを確認したほか、担任会議、幼児会議、乳児会議、全体職員会議等でサービスのブラッシュアップを図り、階層別の研修を行う等の取組をしていることを聞き取った。
 II-1-(2) ②経営の改善や業務の実行性を高めるため、保育業務支援ソフト「桜システム」を導入し、働きやすい環境に取り組んでいることを聞き取ったほか、業務、人事、労務、財務に各担当を設け、施設長会議の中で分析し、改善につなげている旨の説明を受けた。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	B	A
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	A	A

【自由記述欄】

II-2-(1) ①法人において「リクルーティングTEAM“SKIPPA”」を中心に人材確保のための取組を行っていることを確認した。また、法人本部に人材開発室が設置され、各施設からの情報をもとに、人材育成計画を行っていることを聞き取ったほか、「キャリアアップ研修参加予約」によって育成計画が実行されていることを確認した。また、法人のホームページには就職フェアへの出展案内も掲載されており、自己評価BをAとした。
 II-2-(1) ②法人HPで期待する職員像が掲げられていることを確認したほか、法人において総合的な人事管理が行われている旨の説明を受けた。また、「人事管理制度実施要領」の中に職員の育成や活用、処遇、評価などについての記述があることを確認した。
 II-2-(2) ①職員の就業状況や意向の把握による働きやすい職場づくりについては、一人ひとりの職員の育児環境等を考慮するなど、ワークライフバランスにも配慮した取組がなされており、互助会等を活用した福利厚生も行われていることを聞き取った。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	A	A
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	A	A
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	A	A
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	A	A

【自由記述欄】

II-2-(3) ①職員一人ひとりに対する育成に向けた取組については、人事考課面談の中で個人目標を明確にする等の取組が行われていることを「業務管理・評価シート」で確認した。
 II-2-(3) ②法人の基本方針の中に「期待する職員像」が明示されており、「ゆかり子ども園事業計画」の中には「教育・研修計画」の項目が盛り込まれていることを確認した。また、「施設内外研修・見学・研究等報告書」により研修の実施についても確認した。
 II-2-(3) ③法人のHPや「ゆかり子ども園事業計画」の中に職種別やテーマ別の研修が掲載され、「施設内外研修・見学・研究等報告書」により、研修の実施も確認することができた。また、研修は外部研修も含めて業務として行われ、研修費や旅費も園で負担されていることを聞き取った。
 II-2-(4) ①実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成については、「実習生の受け入れについて」のマニュアルが整備されており、指導者に対する研修が実施されていることも「保育所指導者研修」において確認した。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	A	B
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	A	B
[自由記述欄]					
II-3-(1)①運営の透明性確保のための情報公開については、法人のホームページや「ゆうかり子ども園～要覧～」、「ゆうかり子ども園～しおり～」、「ゆうかり子ども園～パンフレット～」等により保育の内容等が確認できたものの、いずれにおいても事業計画の公開が確認できなかったことから自己評価AをBとした。 II-3-(1)②適正な経営・運営のため、法人で税理士、公認会計士から助言を得ているほか、「事務分掌表」により事務・経理など各担当を定め、「経理規程」に基づいた取組が行われていることを確認したが事業に関する外部の専門家によるチェックは確認できなかったことから自己評価AをBとした。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	A	A
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	A	A	
	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	A	A	
	27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	A	A	
[自由記述欄]					
II-4-(1)①子どもと地域の交流を広げるための取組については、基本的な考え方が「ゆうかり子ども園事業計画」に明文化され、それをもとに地域の行事である「みねやま夜の市」や「京丹後商工祭」への参加、法人内の老人施設への訪問を行っていることを聞き取った。 II-4-(1)②ボランティアの受け入れについては、マニュアル「ボランティアの受け入れについて」が整備され、受入れの態勢が整えられていることを確認した。 II-4-(2)①必要な社会的資源の明示と関係機関との連携については、社会資源を明示したリストが職員の机上に貼ってあり、職員間で共有できるようにしていることを施設見学で確認した。連携についての具体例については、交通安全に関する地元警察との連携や京丹後市子ども未来課との連携、児童相談所とのケース会議等について聞き取ることができた。 II-4-(3)①②園の機能の地域への還元については、「ゆうかり子ども園～要覧～」の「地域子育て支援事業」や「一時預かり保育」、「病後児保育」等により多様な支援活動が確認できた。また、乳幼児の子育て親の交流を図る「ニコニコフェスティバル」の開催や誰でも自由に集まれる居場所（きらきらスペース）の提供、ゆうかり子ども園園開放等も法人のホームページで確認できた。					

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
III-1 利用者本位の福祉サービス	III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	A	A
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	A	A
	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	A	A	
	31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	A	A	
	32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A	
[自由記述欄]					
III-1-(1)①共通の理解を保つため「教育および保育の内容に関する全体的な計画」や「職員倫理綱領に基づく行動指針」が策定され、乳児・幼児会議や全体会議を通して共有されていることを確認した。また、子どもの人権等についての研修が行われ、報告会や閲覧などにより職員間で共有されていることを「研修報告」により確認した。 III-1-(1)②「個人情報管理規程」「個人情報保護に対する基本方針」「児童虐待対応マニュアル」に基づき、子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われていることを確認した。 III-1-(2)①保育所選択に必要な情報「ゆうかり子ども園～要覧～」や「ゆうかり子ども園～しおり～」を京丹後市の各市民局や法人の各施設に置く等して、適切に提供されていることが確認できた。 III-1-(2)②保育の開始・変更時には、福祉サービスの内容を「ゆうかり子ども園～しおり～」や「園だより」により保護者の状況に応じてひらがなや英文に変えるなどの工夫のもと説明していることを聞き取り、あわせて保護者の同意書も確認した。 III-1-(2)③「転園・卒園について」に基づき、保育終了後においても保護者が相談できるように窓口を設置する等、保育の継続性に配慮して対応されていることを確認した。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	A	A
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	A	A
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	A	A

[自由記述欄]
 Ⅲ-1-(4) ①「苦情・解決マニュアル」の作成や「苦情申出窓口の設置」等により解決の仕組みを確立し、また、苦情内容及び解決結果は内容に応じて保護者にフィードバックするとともに、法人のホームページにおいて公表されていることを確認した。
 Ⅲ-1-(4) ②保護者が相談や意見を述べやすい環境については、「意見・要望対応について」のマニュアルを作成し、相談対応担当を設け、玄関には「意見箱」が設置されていることを確認した。
 Ⅲ-1-(4) ③保護者からの相談や意見に対しては、「苦情解決対応マニュアル」に準じて迅速に対応し、他の保護者にも共有すべき内容については「園だより」に掲載している旨の説明を受けた。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	A	A
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	A	A
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	B	B
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	B	A

[自由記述欄]
 Ⅲ-1-(5) ①安心・安全な福祉サービスの提供のため、「リスクマネジメントマニュアル」「リスクの発見と確認マニュアル」を整備しリスクマネジメントの体制を構築しているほか、職員への研修も「ゆかり子ども園事業計画」の中で計画されていることを確認した。
 Ⅲ-1-(5) ②「感染症対応マニュアル」に基づき、感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制が整備されていることを確認したほか、「保健だより」や玄関のボード等で保護者への情報提供を行なっていることを確認した。
 Ⅲ-1-(5) ③災害時の取組については、「危機管理対応マニュアル」が整備され、子どもの安全確保のための取組が組織的に行われていることを聞き取ったが、備品類等の備蓄リストが確認できなかった。
 Ⅲ-1-(5) ④「不審者対応マニュアル」及び「危機管理マニュアル」により不審者の侵入時などに対応していることを確認するとともに、警察等との連携のもとで職員に対する研修が行われていることが聞き取れたので、自己評価BをAにした。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	A	A
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A	A
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	A	A
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	A	A
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	A	A

[自由記述欄]
 Ⅲ-2-(1) ①提供する福祉サービスの標準的な実施方法については、「教育および保育の内容に関する全体的な計画」の文書が確認でき、一人ひとりの園児の個性に合わせた保育が提供されていることを聞き取った。
 Ⅲ-2-(1) ②標準的な実施方法の見直しの仕組みについては、毎月の乳児・幼児会議や全体職員会議で検証・見直しが行われ、さらに年度末の全体職員会議では一年を通しての検証・見直しが行われていることをそれぞれの「会議録」で確認した。
 Ⅲ-2-(2) ①アセスメントにもとづく指導計画については「年間指導計画」「月案」「週案」を策定し、これをもとに一人ひとりの子どもにも配慮した保育実践が行なわれていることを確認した。
 Ⅲ-2-(2) ②指導計画の評価・見直しについては、毎月の乳児・幼児会議や全体職員会議で、評価・見直しが行われていることを聞き取った。
 Ⅲ-2-(3) ①子どもに関する保育の実施状況については、「桜システム」を用いて記録され、乳児・幼児会議や全体職員会議などを通して職員間で共有されていることを「会議録」で確認した。
 Ⅲ-2-(3) ②子どもに関する記録については、「文書取扱規程」「個人情報管理規程」が作成され、それに基づき適切に管理されていることが確認できた。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	A	A
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	B	B
		48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	A	A
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	A	A
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	A	A

[自由記述欄]

A-1-(1) ①保育所の理念、保育の方針や目標に基づいた「教育および保育の内容に関する全体的な計画」があり、年度末に評価を行い職員が参画し次の編成を行っていることを「会議録」で確認した。
 A-1-(2) ①子どもが心地よく過ごすことのできる環境については、心地よい睡眠のためのカーテンの設置ができていなかった。また手洗い場の一部が古いため子どもたちには使いづらい旨の説明を受け、施設見学でも現状を確認した。
 A-1-(2) ②子どもの状態に応じた保育については、「個別指導計画」を用い、年齢に応じたことばで話しかけたり、安心して過ごせるよう声掛けを行う等、一人ひとりの子どもの家庭環境や状況、体調、子どもの状態に応じた保育が展開されていることを確認した。
 A-1-(2) ③子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備と援助については、「個別指導計画」を確認するとともに、施設見学においても衣類の整理がしやすいように片づける場所にマークや名前を付ける等の工夫が随所に見られた。
 A-1-(2) ④子どもが主体的に活動できる環境の整備や子どもの生活と遊びを豊かにする保育の展開については、素材や廃材を家から持ってきて作品を作ることができるようにセロハンテープやクレヨン等を自由に使えるところに置いておく、あるいは子どもたちが畑で野菜を育て給食で使用してもらうなど、子どもたちの体験を通して豊かさを身につけるような工夫がなされていることを施設見学の際に説明を受けた。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A	A
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A	A
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A	A
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A	A
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A	B
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	A	A

[自由記述欄]

A-1-(2) ⑤乳児保育においては、「月案」「週案」「個別指導計画」に基づき、ゆったりとした関わりを大切に、親子だけで過ごせる授乳室を設けたり、一人ひとりの生活リズムに合わせて眠れる環境を作るなどの配慮をしている旨の説明を受けた。
 A-1-(2) ⑥3歳未満児の保育においては、「月案」「週案」「個別指導計画」に基づき、様々な年齢の子どもと関われるようごちゃまぜ保育を実施し、開放保育時には、保育士以外の大人との関わりがあることを聞き取った。
 A-1-(2) ⑦3歳以上児の保育においては、施設見学時に、年長児が思い出を語り合う時間の中で、園児がとても落ち着き集中して過ごしている様子が確認できた。
 A-1-(2) ⑧障害のある子どもが安心して生活できるように、それぞれの子どもの障害の特性に合わせた補助環境に配慮をしていることを聞き取った。
 A-1-(2) ⑨長時間保育については、ゆったりと過ごせる環境が整備されていることが聞き取れたが、指導計画に長時間保育の位置づけがなかったため、自己評価AをBとした。
 A-1-(2) ⑩小学校との連携、就学を見通した計画については、小学校教員との意見交換会を年4回行っていることや「認定こども園園児児童指導要録」に指導内容等を記録していることを聞き取った。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	A	A
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	A	A
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	B	B
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	A	A
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	A	A

[自由記述欄]
A-1-(3) ①子どもの健康管理については、「健康管理マニュアル」を確認するとともに、マニュアルに基づき、保護者や職員に対する乳幼児突然死症候群等の情報提供や周知、子どもの健康状態（体調悪化・けが、既往症の状況等）の共有等が適切に行われていることを聞き取った。
A-1-(3) ②健康診断・歯科健診は、「歯科健康診断記録表」を確認し、「内科健康診断結果のお知らせ」として保護者に伝えていることを聞き取った。
A-1-(3) ③アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもへの対応については、「アレルギー対応マニュアル」が整備され、慢性疾患などの研修にも参加しているが、誤食時・接触時の緊急手順に基づく定期的な訓練が行われていなかった。
A-1-(4) ①食事を楽しむことができるように、バイキング会食の実施や園の畑で作った野菜を収穫し調理してもらう等の取組みが行われていることを聞き取った。
A-1-(4) ②子どもの喫食状況については、「衛生管理マニュアル」に基づき「検査簿」で把握し、給食会議で共有・献立の作成・調理の工夫を検討していることを確認した。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	A	A
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	A	A
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	A	A
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	A	A

[自由記述欄]
A-2-(1) ①子どもの生活を充実させるための家庭との連携については、「おちょうめん」で情報交換を行っていることを聞き取った。また、必要に応じて職員会議等で情報を共有している。
A-2-(2) ①保護者等が安心して子育てできるような支援については、日々の様子を「おちょうめん」や玄関にあるボードで伝え、コミュニケーションをとっているほか、定期及び必要に応じて個人面談も行っていることを聞き取った。
A-2-(2) ②虐待の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防については、「児童虐待対応マニュアル」が整備され、「ゆうかり子ども園事業計画」に基づき職員に対し虐待防止の研修を行なっていることを確認した。
A-3-(1) ①保育士等が主体的に保育実践の振り返りを行い、面談等により保育実践の改善や専門性の向上につなげていることを聞き取った。